

## 「みどりの保育園」推進事業

# 「緑再生里親事業」で野外観察会！！

天候不順で雨天が心配された10月15日（水）保育園児達の祈りが天に届いたのか曇り空で暑くもなく絶好の山行日和となりました。

今回は保育園児達に森林の多様性を知ってもらうために、保育園の周囲に生育しているクロマツ林と違った森林を探索して、採取した種子を保育園に持ち帰り、プランターに蒔いて育てて山へ植林する「緑再生里親事業」の一環として、「鳥海高原家族休暇村」付近の森林をフィールドに事業の指導を行いました。

酒田市の西荒瀬保育園を出発して、最初に到着したのが鳥海山南麓の「環境省猛禽類保護センター」でした。

センター職員の案内でイヌワシやクマタカの実物大の縫ぐるみや剥製を見学し、森林に生息する猛禽類の大きさに驚いていました。

次の活動は、野外探索と種子の採取です。今回の講師はNHK山形の自然観察でお馴染みの白壁洋子さんでした。今回の指導のため忙しい中を米沢市から駆けつけてくれました。

猛禽類保護センターから鳥海高原家族休暇村までの遊歩道を利用して、紅葉した木の葉やドングリなどを採取したり、白壁さんの指導でクロマツ林と違った広葉樹林の生態を学習しました。

講師の白壁さんも園児達の素朴な質問や活発な行動に、一生懸命回答したり安全確保に気を配ったりと大変な様でしたが、最後にはすっかり打ち解けて「壁さん」「壁さん」と園児達がついて、体の周りから離れなくなっていました。

途中でアケビや秋グミの実を見つけて食べたり、キノコやバッタを見つけたりと園児達も参加者も自然と一体となって秋の鳥海山を楽しみました。

残念ながら今回楽しみにしていたブナの種は、不作で拾うことができませんでしたが、ドングリは何とか保育園でプランターに蒔く量は確保できました。

お昼に休暇村の休憩施設に到着しましたが、到着すると同時に雨が降り出しました。まるで今回の野外観察会のために雨を降らすのをまっていたかの様な天候に皆驚いていました。

野外で予定していた昼食後のネイチャーゲームは室内での開催となりましたが、スギの円盤の上でジャンケンをして陣取りをする「木ケン」やレクダンスを踊って、今回の事業は無事に終了しました。

なお、今回の事業で採取したドングリ等の種子は、11月の下旬にプランターに植えて育てて、3年後に山へ植林する予定です。無事に大きく育つように園児達と見守りながら今後も「緑再生里親事業」の指導を継続していきます。





バスに乗り込み出発



猛禽類保護センター見学



ドングリが沢山落ちていました



秋グミって美味しいね



紅組と白組でジャンケン



「TOTO便器」のダンス熱演中